

貸出金の状況

貸出金残高

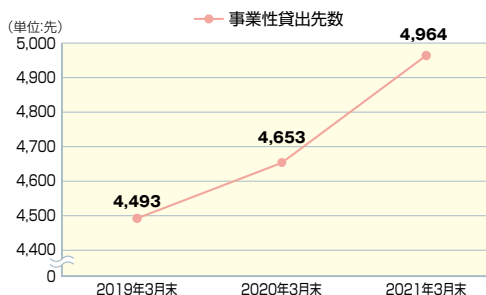
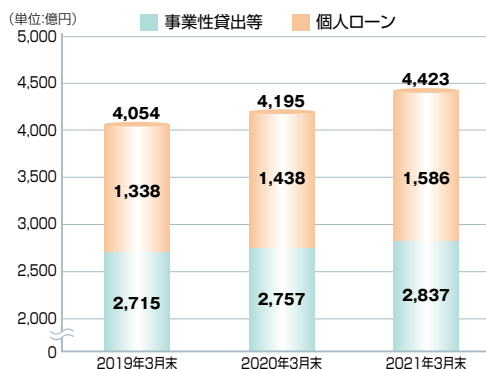
4,423億円

貸出金は、中小企業向け融資や住宅ローンを中心とした個人向け融資が増加し、期末残高は前期比5.42%増加の4,423億円と8期連続で増加しました。

事業性貸出先数

4,964先

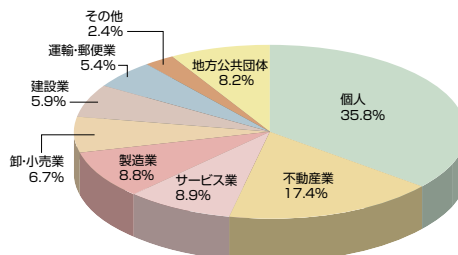
事業性の貸出先数は、資金繰りや本業の支援に積極的に取組むなど、経営上の課題解決に繋がる活動に取組んだ結果、年間311先増加の4,964先となりました。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の91.7%は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめとした地域のお客様に幅広くご利用いただいています。

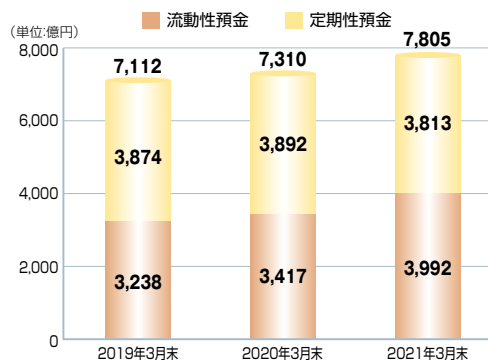


預金積金の状況

預金積金残高

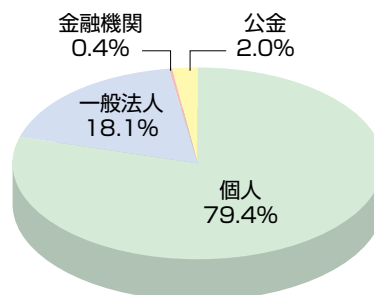
7,805億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替など、基盤取引の推進に取組むとともに、非対面チャネルの拡充に努めた結果、期末残高は前期比6.76%増加の7,805億円と4期連続で増加しました。



預金者別預金残高構成比

地域のお客様からの信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は79.4%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。

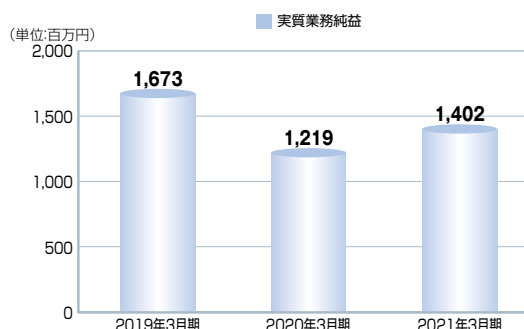


損益の状況

実質業務純益

14億円

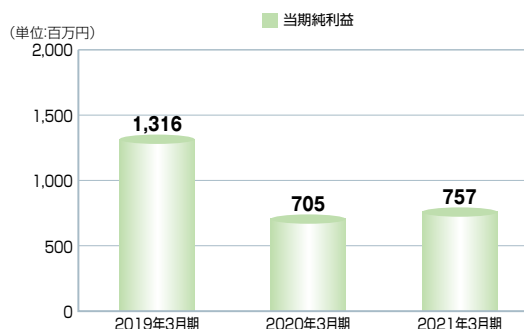
本業の利益を示す実質業務純益は、有価証券運用において投資信託の解約損益が改善したことに加え、新型コロナウイルスの影響により経費が減少したため、前期比15.00%増加の14億2百万円となりました。



当期純利益

7億円

当期純利益は、前期比7.27%増加の7億57百万円となりました。



自己資本の状況

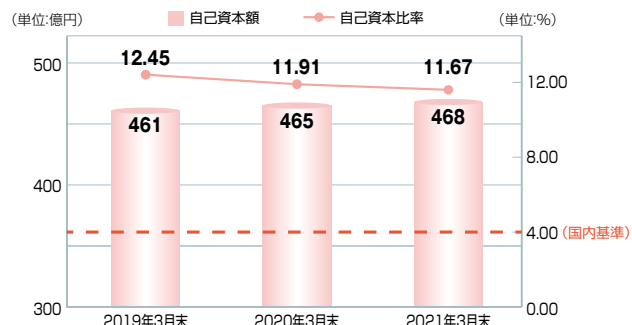
自己資本比率

11.67%

自己資本額

468億円

自己資本額は前期比0.72%増加の468億円となりました。一方、リスク・アセット等が、前期比2.73%増加したため、自己資本比率は前期比0.24ポイント低下の11.67%となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準4%（規制値）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況（金融再生法ベース）

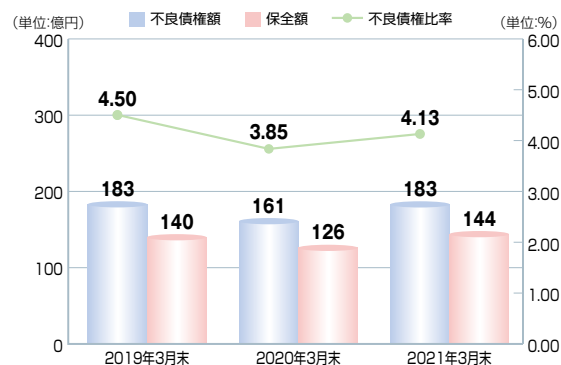
不良債権比率

4.13%

不良債権額

183億円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられている方々に対しまして、積極的な資金繰り支援を実施した結果、不良債権額は前期比13.08%増加の183億円、不良債権比率は前期比0.28ポイント上昇の4.13%となりました。



なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。